



# みかんぐみだより

2021年3月1日  
尚徳福祉会おぐら保育園  
みかん組担任

4月に進級、入園をして気づけばもう3月になってしまいました。

今年度は例年のない緊急事態宣言やコロナによる休園など、ご家庭にも多くの協力をして頂くことが多くなりご不便をおかけいたしました。しかし、皆様のご理解、ご協力のもとで子どもたちも楽しく過ごせたと思います。みかん組で過ごす最後の1か月となりましたが、たくさん成長した子どもたちと共にもも組へと進級に向かう日々を楽しく過ごしていきたいと思っています。

## オニはそと！できるかな？



節分に向けてお面の制作をして、節分当日は豆を模したカラーボールを使って豆まきをしました。「オニが来たらオニは外！ってやるんだよ」と教えると「やる！できる！」と気合十分！！・・・だったのですがオニ役の保育者が室内に来ると無言で立ち尽くす子どもたち…。なんとかボールを投げるも「お、おにはそと…」と小声でしたが頑張って投げていました。オニ役の保育者が室内に戻ると「どこ行ってたの!?!」「オニ来たよ!?!」と質問攻めに。お面だけに目が行ってオニ役が誰だったのかまでは気にする余裕は無かったようでしたが、無事に豆まきを終わることができました。



## 見ててね、見ててね！

自我の成長に伴ってこの時期にある「自分でやるからやらないで！」というやりとり。最初は自分でやりたくても上手く出来ないことも多かったのですが、今では靴下や靴等を自分ですんなり履ける姿も多くなってきました。すると今度は「見ててね！」と自信たっぷりに出来ることを見せてくれるようになりました。保育者や保護者に褒められてまた新しいことにもチャレンジしたくなり、その中で出来るが増えていきます。私たちも「やったね！」と自分のことのように喜びながら見守っています。



～1年間を振り返って～

言葉の獲得や自我の成長など、沢山の成長をしていく1歳という時期を子どもたちと一緒に楽しく過ごし、同時に多くの成長に立ち会うことができました。「〇〇ちゃん一緒に遊ぼうよ」「今日は〇〇先生はお休み?」「上手にできたから壊さないでね」などたくさんの言葉を覚え、想いを伝えられるようになってきました。年度初めは保護者と離れることが寂しくて泣いていた子たちも今では「先生ー！」と自分から走り寄ってくれる子、外で保育者にくっついて離れなかった子が友だちを見つけるなり走り出して行く姿、「やってやって」と言っていた子に保育者が手伝おうとすると「自分でやる」と一人でチャレンジする姿など、職員が手伝うことが少なくなることは少し寂しさもありますが、そんな姿を見ていると子どもたちは私たちが思っている以上に自分で見て考えて成長しているんだな、と感じさせられました。みかん組で過ごす中で身に付いたことがもも組やその先の幼児クラスでも一人一人の力となってくれることを願っています。

一年間、ありがとうございました。

みかん組 担任一同

